

[ホーム](#) > [フォーラム/セミナーの報告](#) > [フォーラム](#)

平成24年度 医療安全管理シンポジウム（静岡県西部地区）

学びの多い演題発表で課題が明確に

[プログラム・講師プロフィール](#)

静岡県西部地区担当病院 浜松赤十字病院
医療安全専従リスクマネージャー 櫻井 恵子

平成24年10月22日（月）18時より浜松医師会館にて開催された。静岡県内の病院関係者136名が参加して行われた。参加者内訳：県西部22施設128名、県中部1施設2名、県東部2施設2名、未入会2施設3名、他1名



開会挨拶 静岡県病院協会
参与 奥田康一氏

演題発表：5題

1. 「多職種による転倒転落カンファレンスを実践に活かす」

転倒転落防止のために多職種でラウンド・カンファレンスを実施し効果を得た実践報告

2. 「病院全体の改善活動につなげるための当院の取り組み」

静脈血栓塞栓症の予防対策・抗血栓薬中止規約・事例検討会の取り組みの実践活動報告

3. 「永久気管孔安全管理カードの運用」

他院で発生した事例を当施設での問題と捉え対応した実践報告

4. 「病棟でのRCA分析の実践事例」

院内ではじめている分析手法を病棟で実践した報告

5. 「当院におけるリスク削減ツールFMEAの実践事例」

事後対策分析でなく未然に防止するツールの必要性和実践報告



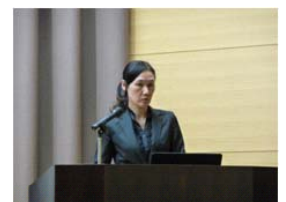
座長 浜松赤十字病院
副院長 俵原 敬氏



公立森町病院
吐師たか子氏

シンポジウム

各施設のインシデント事例とともに分析方法および実践評価・効果等の発表があった。施設の分析を自施設に当てはめての意見や質問があり、学びの多い演題発表となった。また、シンポジウムでは発表に基づいたそれぞれの施設での取り組み方が紹介された。事例分析は各施設で異なり、事例にあわせて分析方法を変えていたり、統一した分析方法にRCAを取り入れる取り組みをしてい



浜松医療センター
山本智美氏



いのちをまもる
PARTNERS
医療安全全国共同行動

たり、未然防止分析の使用と様々であった。各施設とも事例の選択や時間の問題等があげられ、今後の課題となった。また事故が発生する前に事前にリスクを感知して防止するシステムの構築の必要性が討論された。

今回の発表では、これまで発表のなかった施設からの演題もあり、より広範な施設間の交流に繋がったシンポジウムであった。これを機会に更なる安全管理を多くの施設で共有し、患者・医療従事者の安全に寄与したい。



浜松市リハビリテーション病院 沖原由美子氏



浜松赤十字病院
半場公義氏



聖隷浜松病院
林泰広氏



閉会挨拶 静岡県病院協会
医療安全部会会長 小林隆夫氏



*シンポジウムの各発表の概要は「[病院の活動紹介](#)」（目標7の項）に掲載しています。